

1

「女性版骨太の方針2024」が決定されました



令和6年6月11日、全閣僚による「すべての女性が輝く社会づくり本部・男女共同参画推進本部合同会議」を開催し、「女性版骨太の方針2024」が決定されました。

具体的な取組みについて

女性版骨太の方針2024においては、政府全体で、以下の4つの重点事項に沿って取組を強化していきます。

重点事項 1

企業等における女性活躍の一層の推進

- 企業における女性の採用・育成・登用の強化（図1）
- 科学技術・学術分野における女性活躍の推進（図2）
- 女性起業家の支援

女性役員の登用目標の達成に向けて、各企

業の行動計画策定ガイドの作成や周知、好事例の横展開を行い、ロールモデルとなる女性役員等の事例集の作成等、啓発コンテンツの作成や情報提供等を行います。

我が国の女性役員比率の推移（図1）



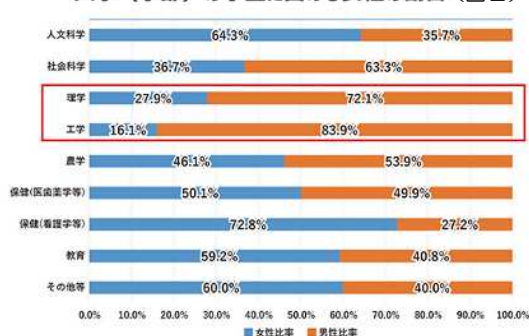
(備考) 1. 東洋経済新報社「役員四季報」に基づき内閣府において作成。
2. 調査時点は原則として各年7月31日現在。
3. 役員は、取締役、監査役及び執行役。
4. 日本を除くG7諸国の平均、OECD諸国の平均はOECD「Social and Welfare Statistics」から引用。

出典：男女共同参画局「共同参画令和6年7月号」

理工系分野を目指す女子生徒等の育成に向

けて、若手ロールモデルによる授業等の実施手順の事例等を示した「理工チャレンジ」のプログラムを作成・周知し、地域の大学・高専における取組を促すことで、理工系の魅力を発信する機会の増加を図ります。また、学校教育におけるプログラミング教育の充実を図ります。

大学（学部）の学生に占める女性の割合（図2）



（出典）文部科学省「令和5年度学校基本統計」

出典：男女共同参画局「共同参画令和6年7月号」

女性起業家を支援するため、金融機関や地域中核企業といった様々なステークホルダー

ーを巻き込みつつ、全国各地で女性起業家に対して一貫した支援を提供するネットワークを構築し、事業計画に対する助言を行うとともに、支援者とのマッチングに向けた支援プログラムを実施します。

重点事項 2

女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の一層の推進

- 所得向上、リスクリングの推進（図3）
- 仕事と育児・介護の両立の支援
- 仕事と健康課題の両立の支援
- 地域における女性活躍・男女共同参画の推進（図4）

出産を機に多くの女性が非正規雇用化する

「L字カーブ」の解消に向けて、正規雇用の女性の就業継続の支援や、就労に直結するデジタルスキルの習得支援やデジタル分野への就労支援を推進します。また、男女間賃金格差や「年収の壁」を意識せず働くことができるように、制度の見直しに取り組みます。

L字カーブの状況（図3）



（備考）1. 総務省「労働力調査（基本集計）」より作成。

2. 就業率は、「就業者」/「15歳以上人口」×100。

3. 正規雇用比率は、「正規の職員・従業員」/「15歳以上人口」×100。

出典：男女共同参画局「共同参画令和6年7月号」

柔軟な働き方の推進や男性の育児休業取得の促進などによって、男女問わず育児・介護とキャリア形成との両立を図りつつ、女性への育児負担の偏りを解消します。経営層や管理職も含めた周知・啓発、企業における家事支援サービスを提供する取組の促進などについて取り組みます。

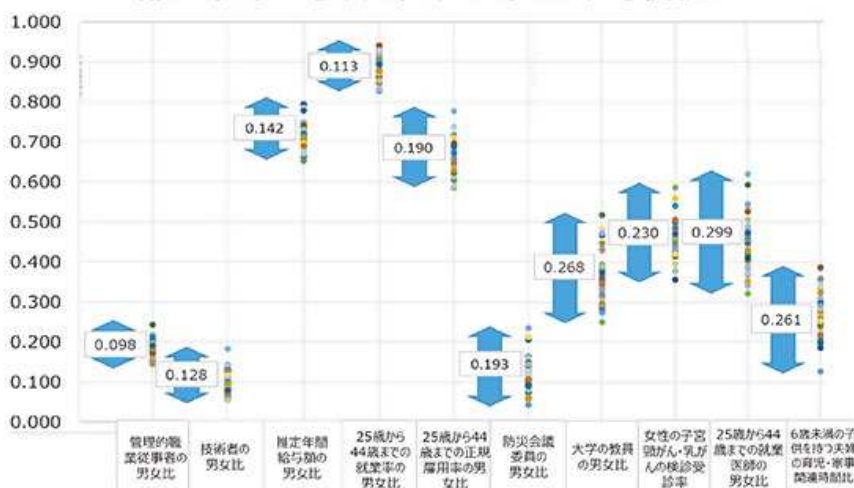
月経や更年期等、女性のライフステージごとの健康課題に起因する望まない離職などを防ぐため、例えば、健診において、月経随伴症状というような早期発見に資する項目を問診に加え、その実施を促進するように取り組みます。また、健康経営銘柄等において、女性の健康課題に取り組んでいる企業などの好事例を集め、周知等を行います。



海老名市イメージキャラクター
えび〜にゃ

地域の企業における女性活躍を推進するための担い手を育成するため、女性の活躍の推進などに取り組んでいる各地域の企業の好事例の周知・啓発を行います。地域女性活躍推進交付金による支援や、好事例や先進的な取組を横展開し、地域リーダーの意識醸成・育成を推進します。また、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消と、それらに対する管理職・経営層等の意識改革を図り、性別役割分担にとらわれない働き方を推進します。

都道府県ごとの男女参画状況の可視化（図4）



（備考）独立行政法人国立女性教育会館（NVEC）及び男女共同参画センターの機能強化に関するワーキング・グループ（第1回）会議資料より抜粋。

重点事項
3

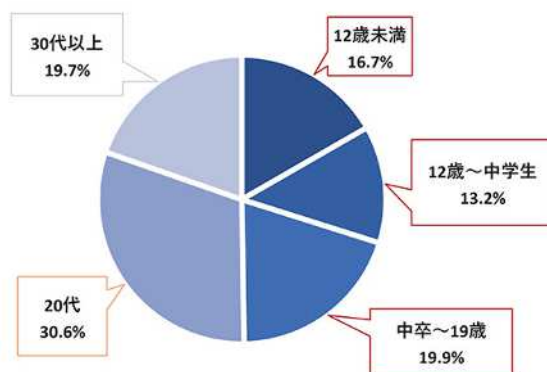
個人の尊厳と安心・安全が守られる社会の実現

- 男女共同参画の視点に立った防災・復興の推進
- 配偶者等からの暴力や性犯罪・性暴力への対策の強化（図5）
- 困難な問題を抱える女性への支援
- 生涯にわたる健康への支援

能登半島地震における災害対応を検証し、今後の対応に活用します。また、防災の現場などにおける女性の参画拡大とこれを推進するリーダー層の意識醸成や防災教育を推進します。

配偶者等からの暴力の防止、被害者の保護や支援、相談体制の整備や周知等の一層の強化を図るとともに、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの運営の安定化や、相談員のスキル向上等も図り、性暴力・性犯罪の根絶のための取組や被害者支援を強化します。

ワンストップ支援センターへの相談者の被害時の年齢（図5）



（備考）1. 内閣府「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターを対象とした支援状況等調査」報告書（令和5年3月）より作成。
2. 令和4年6月～8月の相談者のうち、年代が不明の者を除いた場合の割合としている。

出典：男女共同参画局「共同参画令和6年7月号」

令和6年4月に施行された女性支援新法に基づき、女性相談支援センターや女性相談員の人材育成・処遇改善などを通して、困難な問題を抱える女性一人ひとりのニーズに応じて、包括的な支援を行います。

生理の貧困への対応、フェムテックの推進と更なる利活用、緊急避妊薬の利用に向けた検討等に取り組みます。また、女性の健康ナショナルセンター（仮称）の診療機能充実化や同センターを中心とした女性の生涯にわたる健康課題に関わる研究などに取り組み、健康支援のために取り組みます。

重点事項
4

女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化

- 男女共同参画の視点に立った政府計画の策定等の推進
- 政治・行政分野における男女共同参画の推進

あらゆる分野の政策・事業の計画等について、男女別の影響やニーズの違いを踏まえた検討や立案を行います。

女性が政治に参画する上での課題等について詳細な調査を行い、その結果に基づいた周知・啓発を行います。また、各府省における各役職段階に占める女性割合の数値目標を定め、取組内容や実施状況とともに公表します。

2

市の取組み



市は、男女共同参画社会の実現を目指し、毎年講座や講演会等を実施しています。

今年度より、会場に来ることができない方も自宅等から講座を受講できるように、会場とオンライン方式を併用したハイブリットでの講座を開催いたしました。



SDGs・エンパワーメント講座 ～ 自信がつく！片付けスキル思考法 ～

男女の枠にとらわれず誰もが活躍できる男女共同参画社会を推進するため、SDGs・エンパワーメント講座を実施しました。SDGsの目標である「ジェンダー平等を実現しよう」の観点から、多様な生き方に対応する自立を育む考え方と、片付けや整理収納の思考法を学ぶことで、選択力・実行力・継続力を磨き、目標達成に必須の自己決定力を鍛えました。

- ◆ 日 時 令和6年6月1日（土）10時～12時
- ◆ 講 師 宇田川 路代 氏
株式会社インスタイル 代表取締役
オンライン片付けアドバイザー養成スクール副校長

感 想

海老名市男女共同参画協議会委員 会長 今別府 より

今回の講座を受講して、女性の多様な生き方に対応する自立を育む考え方と、片付けや整理収納の思考法があることを学ぶことができました。

片付けスキル思考法によって自分を知り、判断し、他者を理解することなどによって実行、継続できることに気づかされました。

私自身が片付けられない理由は、目に見える所や手の届く所に物を置くことにより整理整頓ができなくて片付けられないことがわかりました。

これから、自分なりの基準をつくり、優先順位を決めてやりたくなってから始めようと思います。

会場でも



オンラインでも

多様な働き方セミナー ～ ワーク・ライフ・バランスの視点から働き方を考える ～

求職活動や転職を考えている方に、理想的なキャリアを形成するためのサポートとして、ワーク・ライフ・バランス講座を実施しました。

自分に合った働き方や、仕事に追われる毎日の中で、自分のキャリアについて考える機会を、ワーク・ライフ・バランスの観点から自分の理想的なキャリアや、また、今必要なことを学ぶことで、ワーク（仕事）とライフ（家事、育児、介護、自由時間）の両立を図りました。

- ◆ 日 時 令和6年7月6日（土）10時～12時
- ◆ 講 師 一ノ瀬 史子 氏
NPO 日本キャリア・コンサルタント協会理事
社会保険労務士 / キャリアコンサルタント

感想

海老名市男女共同参画協議会委員 滝口 より

「ワークライフバランス」という言葉は最近耳にする機会がありますが、具体的にはどういうこと？誰がどうすればいいの？と内容は分かりにくい言葉です。

今回のセミナーは、自分がどんな人生を望むのかをもう一度自分に確認してみようというものでした。人生の時間軸でその時その時の自分のニーズや価値観に合わせて、また、将来はどんな自分でいたいかを考えて自分の働きかた、生き方を自分でマネジメントするのが理想だという事です。

長時間労働は当たり前、賃金の発生しないことは価値の低いことという社会の価値観があった時代を経験した私には、本当に良い時代になったと思えます。しかし、それもワークライフバランスがもっと社会全体の価値観として広がってこそです。残念なことに、ワークライフバランスとは、仕事をほどほどにしてプライベートを重視すること、とか女性支援のためのもの、とか働かない理由づけ、などの誤解もあるそうです。結局は「自分の人生のハンドルは自分で握る」ことなんですね。一人一人の人生への思いが、一人一人を大切にする社会への大きな動きになって欲しいと強く思いました。

感想

海老名市男女共同参画協議会委員 飯田壽 より

先ずは、生活をしていくために考えることは健康であると思います。

海老名市の人口は、増えていく中で仕事と自分の家庭を守っていくことは、大切なことだと考えます。

働くことの意味を充分理解し、楽しく一生を過ごしていくことと共に、これからの高齢者への温かい心の援助が必要になってくると思いますので、今は仕事に精を出し、人口を守り家族との生活に力を入れ、より良い社会で人に役立つ仕事との絆を作っていくことへの心を育みたいと思います。

3

さいごに



市では、男女が共に助け合い、豊かで活力にあふれた「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」を目指して、第3次男女共同参画プランを令和2年に策定し、男女共同参画社会の実現に向けて多くの取り組みを進めてまいりました。

しかし、意思決定の場における女性の割合が少ないという状況を筆頭に、依然として様々な分野で課題が存在しています。

今年度は、第3次男女共同参画プランの計画期間における最終年度となります。次期プランである第4次男女共同参画プランの策定に向けて、課題を抽出し、男女共同参画社会の推進に向けて尽力してまいります。



出典：内閣府男女共同参画局「共同参画令和6年7月号」2024 p2-5



発行 海老名市 市民相談課 人権男女共同参画係

電話 046-235-4568（直通）

*市HP (<http://www.city.ebina.kanagawa.jp>)でも閲覧できます。

*ご意見・感想は市HPのお問い合わせフォームよりお送りください。



海老名市
住みたい 住み続けたいまち



男女共同参画